

## JR連合 第12回安全シンポジウム開催



JR連合は、5月12日、岡山市内において、第12回安全シンポジウム「より安全・安心なJR産業の構築に向けて、社会変容と向き合い、職場から安全の取り組みを検証しよう！」を開催し、辻村本部書記長・東海地区本部より3名・中国ロジより2名・WEBより1名が参加しました。

JR連合荻山会長挨拶後、公益財団法人大原記念労働科学研究所余村朋樹研究部長による「業務環境の変化と安全の取り組み」、九州旅客鉄道株式会社・上席執行役員貞苺路也安全創造部長による「JR九州のゆるぎない安全をつくる」の基調講演があり、その後、JR西労組・JR東海連合より安全についての取組報告がされました。続いて、「社会変容と向き合い、様々な変化を余儀なくされる中で安全を最優先とした主体的な職場の取り組み」をテーマにパネルディスカッションを行い、日々の課題やリスク、取り組み等を話し合い、最後に、JR連合から「安全確立に向けて」の提起をし閉幕しました。

コロナにより、今後、社会は確実に変化します。ポストコロナの時代にJR産業が持続的に成長していくためには、労働力不足をはじめとする重要課題に対応しつつ、新たな技術を活用し仕事のしくみを見直すなど大胆な変革が必要です。その中で、安全についてもさらに高めていかなければなりません。安全で社会に信頼されるJR産業をつくるために、「常に安全最優先」を念頭に置き、日々の業務をお願い致します。安全に終わりはありません。

